

令和2年度 調布市立第六中学校 学校評価報告書（学校長 臼倉 美智）

学校の教育目標		
○自ら学び、考える生徒 ○命を大切にする生徒 ○何ごともやりぬく生徒		
目指す学校像(ビジョン) 例) 学校像, 教員像, 児童・生徒像		
○主体的な学習を通して、確かな学力や自ら学ぶ姿勢を育成する学校		
○安全に配慮した生活を通して、生命尊重や豊かな人間性を育成する学校		
○学習や学校行事等の活動を通して、粘り強い実践力を育成する学校		

調布市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>

	1 豊かな心(徳)	2 確かな学力(知)	3 健やかな体(体)
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	①全体計画及び年間指導計画の策定・改善(通年)、道徳科授業の充実(年35時間)	①少人数・習熟度別指導(1~3年数学・英語)、読書週間(2回)、数学ステップアップ教室(6回)、漢字検定(3回)・英語検定(3回)、英語検定直前自習サポート(2回)	①オリンピック・パラリンピック教育の指導計画の策定・改善(通年)、体力向上週間(3月)の取組、部活動加入率(90%以上)
	②全教員による巡回指導(毎朝・通年)、六中いじめ防止対策基本方針(4月)、SNS学校ルール(5月)	②校内研修会(授業改善、ICT、特別支援教育等)、生徒による授業評価(全教科2回)、学校公開(1回)と保護者アンケート	②食育(通年、給食便り)、食物アレルギー事故防止研修会、新しい生活様式への意識啓発(通年・随時)、SCによる全員面接・自殺防止授業(1回)
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
	①「私は、学校に行くのが楽しい。」の質問項目では、肯定的評価が生徒85%、保護者83%である。コロナ禍でも前向きに学校生活を過ごしていることが分かる。	①授業への集中、忘れ物、宿題忘れ、遅刻等の授業規律について、生徒による授業評価で肯定的評価80%以上である。	①体力向上週間(3月)の参加率、部活動加入率90%以上であるが、コロナ禍による活動中止が長期化した。
②あいさつ運動、六中いじめ防止対策基本方針に基づきいじめの未然防止、早期発見、早期対応。また、問題行動について、生徒・保護者による学校評価とともに肯定的評価85%である。	②校内研修会(授業改善1回、ICT10回以上、特別支援教育2回他)、生徒による授業評価(全教科2回)で肯定的評価83%以上。また、学校公開(1回)と保護者アンケートで肯定的評価80%以上である。	②授業後の生徒による授業評価(感想文等)で肯定的評価80%以上である。	
学校関係者評価	コロナ禍で中止・変更を余儀なくされたが、概ね良好であり、引き続き可能な限り教育活動を継続してほしい。また、課題については組織として検証し改善してほしい。	コロナ禍で中止・変更を余儀なくされたが、概ね良好であり、ICTのスキル向上についても引き続き研修を継続してほしい。必要があれば、支援をするので、地域の教育力として活用してほしい。	コロナ禍で中止・変更を余儀なくされたが、概ね良好であり、引き続き可能な限り教育活動を継続してほしい。また、課題については組織として検証し改善してほしい。

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>

	4 キャリア教育と特別支援教育	5 家庭、地域、関係機関との連携	6
自己評価	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組	(1) 具体的な取組
	①指導計画の改善(5月末)、検証(2月)、就職支援ナビゲーターによる授業(12月)	①地域学校協働本部との連携協力(通年)、数学ステップアップ教室(6回)英語検定直前自習サポート(2回)	①
	②校内委員会(年12回)	②	②
	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)	(2) 成果(数値目標に対して)
	①参加した生徒による授業評価(感想文等)で肯定的評価80%以上である。	①参加した生徒による授業評価で肯定的評価83%である。	①
②年15回実施し、教員による自己評価で肯定的評価70%以上である。	②	②	
学校関係者評価	コロナ禍で中止・変更を余儀なくされたが、概ね良好である。	コロナ禍で中止・変更を余儀なくされたが、概ね良好である。	

人材育成・組織運営

自己評価	①副校長、管理職選考(B選考)合格者に、危機管理や服務面のトレーニングを積ませ、校長を補佐する立場として育成する。 ②主任教諭3名の受験、管理職候補育成昇任者の育成(5月~12月)を図るミドルリーダーを育成する(通年、随時)。 ③全教職員の「人材育成プログラム」を作成(5月)、職務実績記録や業績評価・昇給推薦の根拠資料とする。
学校関係者評価	コロナ禍で中止・変更を余儀なくされたが、概ね良好であり、引き続き可能な限り教育活動を継続してほしい。また、課題については組織として検証し改善してほしい。

中期的な経営目標の達成状況

生徒による学校評価アンケートの結果、「私は、学校に行くのが楽しい。」の質問項目では、肯定的評価が85%である。コロナ禍でも本校生徒が前向きに学校生活を過ごしていることが分かる。保護者への同じ質問項目「子供は学校へ行くのが楽しいようである。」では、肯定的評価が83%であり、生徒との差はない。今後も「通うのが楽しくなる学校」を目指した教育活動の充実を努める。

次年度の重点課題

コロナ禍で学校行事や部活動について中止・変更を余儀なくされたが、各教育活動のねらいを明確にしなが、柔軟かつ適切に教育活動を継続していく。特に、GIGAスクール構想に基づく1人1台端末導入に伴い、思考力・判断力・表現力等の育成を目指した授業改善に努める。